



せいひ会だより

2014年(平成26年)
4月1日発行
<第168号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



満開の桜に
囲まれて…



寒い冬の後に春の暖かさが続いたせいか、今年の桜は開花が急速に進んだようです。
満開までの期間も短かったですが、そこを逃さずお花見を楽しんだ皆さんです。
あいにくお天気が続かず、雨にぬれる桜を楽しむことになった方も…。
いよいよ春本番。紙面も全体的に春色な今月号です。



3月の行事

- 03日 ひなまつり(GH・通所・風和・寿限無)
- 04日 消防総合訓練(寿限無)
- 10日 陶芸教室(通所)
- 16日 歌の発表会(風和)
- 17日 誕生会(元亀・通所)



4月の行事予定

- 01日 年初式
- 02日～03日 お花見バスハイク(通所)
- 18日 運営推進会議(GH)
- 21日 誕生会(元亀・通所)
- 22日 夜間想定消防訓練(GH翠風)
- 23日 消火訓練(寿限無)



☆3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



谷口サト様 100歳
おめでとうございます



御家族及び西海市長と一緒に

今回は通所リハビリテーション：三枝 熊夫様にお話を伺いました。

大正13年、西彼町中山郷に5人兄弟の二男として生まれる。尋常高等小学校卒業後青年学校へ進み、5年生から研究科へ入った。卒業後は家業の農業を継ぐこととなった。

やがて戦争が始まり、昭和19年1月に満洲へ渡った。「牡丹江省寧」へ入隊し、2年間を過ごした。「冬は寒く食べ物は少なく、いつもお腹を空かしていた」と話される。その後日本へ戻り、国土防衛のため茨城県で戦争の準備をしていた。その6か月後に終戦を迎え、地元に戻り家業の農業を営んだ。

26歳の頃結婚され、3人の子宝に恵まれる(2男、1女)。現在、100頭の牛を飼われており、飼育は息子夫婦に任せておられる。「生き物飼いは大変やったけど、いい牛に育った時は嬉しかった」「今は安心して息子に任せてます」と話されていた。

現在、通所リハビリテーションを利用している。昔からカラオケが好きな様子で、戦争中は軍歌をよく歌ったそうだ。利用中は「お風呂に入ったり、カラオケをするのが一番の楽しみです」と笑顔で話され、友達や他の利用者と会話も弾み、人生を謳歌されています。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間



雉一羽 (風和) 作中和子	桜の薔薇に ひとりの散歩 何思う (風和) 竹下晶子
朝焼けの 薔薇の空は時の間に 色薄れゆき 日の出待つなり (風和) 立石ミドリ	説きつ話しつ涙する 何時迄も私の事を忘れないで 女の無理を許し給うや (通所) 竹下晶子
桜咲き 良いにおい 春近し (風和) 中島マツ	彼岸明け ばたもち作り 先祖の供養 (風和) 久保スガ

歌の発表会

3/16、風和の里で歌の発表会を行いました。2月に行う予定だったこの発表会、1ヶ月延期したため皆さんのが練習時間も十分。世間を賑わせた作曲家らしき指揮者も現れ、場を盛り上げました。優勝したのは西ユニット！震災復興支援ソングでおなじみの「花は咲く」を、伴奏なしで見事に歌い上げました。



GH：記念撮影用の「おひなさまパネル」を、みんなで手作りしました。



通所：ひな祭りクイズで盛り上がった後は、おいしいお抹茶と一緒に、雛あられと桜餅をおなかに収めました。

ひなまつり



風和：ユニットに飾られた雛壇を前に、「昔は家で菱餅を作った」など、昔話に花が咲きました。おやつには、長崎名物『桃カステラ』を美味しくいただきました。



元亀：顔を出すだけで誰でもおひなさまになれるパネルを作成。利用者の方同士でおひなさまに変身する方や、職員とペアになる方も。写真撮影に、カメラマンも大忙しのようでした。

消防総合訓練

3/4寿限無において消防総合訓練を行いました。地域住民の方々や長崎市消防局にも参加を呼び掛け、訓練に参加いただきました。職員を利用者役として行ったこの訓練。緊急事態にも、迅速かつ適切に動けるよう、活用していきたいと思います。訓練に参加・協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。



元亀の里へ毎年実習で来られている、西彼農業高等学校の学生さん達から、車椅子用のカバーのプレゼントを頂きました。



2年生がアームレストカバー、3年生がフットレストカバーを手作りしてくれています。きれいにラッピングされているうえ、色柄も春らしいものやかわいいものなど様々。利用者の方々も早速使って喜ばれています。ありがとうございました。

オヤジ 敏美 の独り言

〈小春日和のある日に〉



仕事に対しては、それぞれの想い・考え方でみんながんばっている。時には考え方の違いで衝突することもある。しかし、目標・ゴールは一緒のはずである。「今、関わっていただいている高齢者の皆さん」の『幸福』。

福祉に従事して一番うれしいことは、「共に幸福を感じること」ではないだろうか。

いつものように時が流れ、時が経つ。誰も時間を止めることはできない。その流れ行く「時」の中で、ともに同じ時間を過ごす人間同士で、数多くの笑顔や感謝の言葉を分かち合いたい。馴れ合いや嘘の笑顔ではなく、本当の笑顔を！！（願）

そんな風にフッと思った小春日和の今月でした。